

Cisco UCS ラック サーバー ソフトウェア、 リリース 4.3(3) のリリース ノート

初版 : 2024 年 2 月 15 日

Cisco UCS C シリーズ サーバ

Cisco UCS C シリーズサーバは、業界標準のラック筐体でユニファイドコンピューティングの機能を提供できるため、総所有コストの軽減と俊敏性の向上に役立ちます。このシリーズの各モデルは、処理、メモリ、I/O、内蔵ストレージリソースのバランスを取ることで、処理負荷にまつわるさまざまな課題に対応しています。

リリース ノートについて

このマニュアルでは、Cisco Integrated Management Controller (Cisco IMC) ソフトウェアおよび関連する BIOS、ファームウェア、ドライバを含む、C シリーズのソフトウェア リリース 4.3(2) の新機能、システム要件、未解決の問題、および既知の動作について説明します。このドキュメントは、[関連資料 \(28 ページ\)](#) セクションの一覧にあるドキュメントと併せて使用します。



(注) 元のドキュメントの発行後に、ドキュメントを更新することがあります。したがって、マニュアルのアップデートについては、[Cisco.com](https://www.cisco.com) で確認してください。

マニュアルの変更履歴

改定	日付	説明
A0	2024年2月5日	<p>次のサーバーの4.3.3.240022のリリースノートを作成しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco UCS C220 M7 および C240 M7 サーバー • Cisco UCS C220 M6、C240 M6、C225 M6 および C245 M6 サーバー および S3260 M5 サーバー <p>個々のリリースに対する Cisco ホストアップグレードユーティリティのファームウェアファイルは、次から入手可能です。Cisco UCS C シリーズ統合管理コントローラファームウェアファイル、リリース 4.3</p>

Cisco IMC リリース番号と .ISO イメージ名

リリース 4.3 以降、シスコでは、.ISO イメージに合わせてリリース番号の命名規則を更新しています。

例：4.3.1.YYXXXX

- **4.3** — メイン リリースを表します。
- **.1** — 最初のリリースを表します。

現在の 4.3 メイン リリースの場合、**.1** は最初のリリース番号を表します。

後続のメンテナンス リリースでは、この番号は関連するメンテナンス リリース番号を表します。

- **YY** — リリース年を表します。

現在の 4.3 メイン リリースでは、**23** は 2023 年に由来します。

- **XXXX** — 最後の 4 桁は、毎年増加するビルド番号のシーケンスを表します。

最初の 4.3 メイン リリースの場合、番号は **0097** です。

サポートされるプラットフォームとリリースの互換性マトリクス

このリリースでサポートされているプラットフォーム

このリリースでは、次のサーバがサポートされています。

- Cisco UCS C220 M7
- Cisco UCS C240 M7
- Cisco UCS C220 M6
- Cisco UCS C240 M6
- Cisco UCS C245 M6
- Cisco UCS C225 M6
- Cisco UCS S3260 M5

これらのサーバの情報については、「[サーバの概要](#)」を参照してください。

Cisco IMC および Cisco UCS Manager リリース互換性マトリクス

Cisco UCS C シリーズラックマウントサーバは、内蔵スタンドアロンソフトウェア (Cisco IMC) によって管理されます。しかし、ラックマウントサーバを Cisco UCS Manager と統合すると、UCSM エンドユーザー インターフェイスを使用して、サーバを管理します。

次の表には、ラックマウントサーバのサポートされたプラットフォーム、Cisco IMC リリース、および Cisco UCS Manager リリースを示します。

表 1: Cisco IMC 4.3(3) リリースのラックマウントサーバ用 Cisco IMC および UCS Manager ソフトウェア リリース

Cisco IMC のリリース	Cisco UCS Manager リリース	ラックマウントサーバ
4.3.3.240022	4.3 (3a)	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco UCS C220 M7 および C240 M7 サーバー • Cisco UCS C220 M6、C240 M6、C225 M6 および C245 M6 サーバーおよび S3260 M5 サーバー

表 2: Cisco IMC 4.3(2) リリースのラック マウント サーバー用 Cisco IMC および UCS Manager ソフトウェア リリース

Cisco IMC のリリース	Cisco UCS Manager リリース	ラックマウント サーバ
4.3.2.240009	NA	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco UCS C220 M6、C240 M6、C225 M6、および C245 M6 サーバー • Cisco UCS C220 M5、C240 M5、C480 M5、C125 M5 および S3260 M5 サーバ
4.3.2.240002	4.3(2)	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco UCS C220 M7 および C240 M7 サーバー • Cisco UCS C220 M6、C240 M6、C225 M6、および C245 M6 サーバー • Cisco UCS C220 M5、C240 M5、C480 M5、C125 M5 および S3260 M5 サーバ
4.3.2.230270	4.3(2)	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco UCS C220 M7 および C240 M7 サーバー • Cisco UCS C220 M6、C240 M6、C225 M6、および C245 M6 サーバー • Cisco UCS C220 M5、C240 M5、C480 M5、C125 M5 および S3260 M5 サーバ
4.3.2.230207	4.3(2)	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco UCS C220 M7 および C240 M7 サーバー • Cisco UCS C220 M6、C240 M6、C225 M6、および C245 M6 サーバー • Cisco UCS C220 M5、C240 M5、C480 M5、C125 M5 および S3260 M5 サーバー

表 3: Cisco IMC 4.3(1) リリースのラック マウント サーバー用 Cisco IMC および UCS Manager ソフトウェア リリース

Cisco IMC のリリース	Cisco UCS Manager リリース	ラックマウント サーバ
4.3.1.230138	サポートなし	Cisco UCS C220 M7 および C240 M7 サーバー
4.3.1.230124	サポートなし	Cisco UCS C220 M7 および C240 M7 サーバー
4.3.1.230097	サポートなし	Cisco UCS C220 M7 および C240 M7 サーバー

表 4: Cisco IMC 4.2(3) リリースのラック マウント サーバー用 Cisco IMC および UCS Manager ソフトウェア リリース

Cisco IMC のリリース	Cisco UCS Manager リリース	ラックマウント サーバ
4.2(3j)	4.2(3j)	Cisco UCS C220 M6、C225 M6、C240 M6、および C245 M6 サーバー Cisco UCS C220 M5、C240 M5、C240 SD M5、C480 M5、C480 ML M5、S3260 M4、S3260 M5、および C125 M5 サーバー
4.2(3i)	4.2(3i)	Cisco UCS C220 M6、C225 M6、C240 M6、および C245 M6 サーバー Cisco UCS C220 M5、C240 M5、C240 SD M5、C480 M5、C480 ML M5、S3260 M4、S3260 M5、および C125 M5 サーバー
4.2(3g)	4.2(3g)	Cisco UCS C220 M6、C225 M6、C240 M6、および C245 M6 サーバー Cisco UCS C220 M5、C240 M5、C240 SD M5、C480 M5、C480 ML M5、S3260 M4、S3260 M5、および C125 M5 サーバー

Cisco IMC のリリース	Cisco UCS Manager リリース	ラックマウント サーバ
4.2(3e)	4.2(3e)	Cisco UCS C220 M6、C225 M6、C240 M6、および C245 M6 サーバー Cisco UCS C220 M5、C240 M5、C240 SD M5、C480 M5、C480 ML M5、S3260 M4、S3260 M5、および C125 M5 サーバー
4.2(3d)	4.2(3d)	Cisco UCS C220 M6、C225 M6、C240 M6、および C245 M6 サーバー Cisco UCS C220 M5、C240 M5、C240 SD M5、C480 M5、C480 ML M5、S3260 M4、S3260 M5、および C125 M5 サーバー
4.2(3b)	4.2(3b)	Cisco UCS C220 M6、C225 M6、C240 M6、および C245 M6 サーバー Cisco UCS C220 M5、C240 M5、C240 SD M5、C480 M5、C480 ML M5、S3260 M4、S3260 M5、および C125 M5 サーバー

表 5: Cisco IMC 4.2(2) リリースのラック マウント サーバー用 Cisco IMC および UCS Manager ソフトウェア リリース

Cisco IMC のリリース	Cisco UCS Manager リリース	ラックマウント サーバ
4.2 (2g)	4.2(2d)	Cisco UCS C220 M6、C225 M6、C240 M6、および C245 M6 サーバー Cisco UCS C220 M5、C240 M5、C240 SD M5、C480 M5、C480 ML M5、S3260 M4、S3260 M5、および C125 M5 サーバー

Cisco IMC のリリース	Cisco UCS Manager リリース	ラックマウントサーバ
4.2(2f)	4.2(2c)	Cisco UCS C220 M6、C225 M6、C240 M6、および C245 M6 サーバー Cisco UCS C220 M5、C240 M5、C240 SD M5、C480 M5、C480 ML M5、S3260 M4、S3260 M5、および C125 M5 サーバー
4.2 (2a)	4.2 (2a)	Cisco UCS C220 M6、C225 M6、C240 M6、および C245 M6 サーバー Cisco UCS C220 M5、C240 M5、C240 SD M5、C480 M5、C480 ML M5、S3260 M4、S3260 M5、および C125 M5 サーバー

表 6: Cisco IMC 4.2(1) リリースのラック マウント サーバ用 Cisco IMC および UCS Manager ソフトウェア リリース

Cisco IMC のリリース	Cisco UCS Manager リリース	ラックマウントサーバ
4.2(1j)	4.2(1n)	Cisco UCS C220 M6、C225 M6、C240 M6、および C245 M6 サーバー
4.2(1i)	4.2(1m)	Cisco UCS C220 M6、C225 M6、C240 M6、および C245 M6 サーバー
4.2(1g)	サポートなし	Cisco UCS C225 M6、および C245 M6 サーバー
4.2(1f)	4.2(1k)	Cisco UCS C220 M6、C225 M6、C240 M6、および C245 M6 サーバー
4.2(1e)	4.2(1i)	Cisco UCS C220 M6、C225 M6、C240 M6、および C245 M6 サーバー
4.2(1c)	サポートなし	Cisco UCS C225 M6、および C245 M6 サーバー

Cisco IMC のリリース	Cisco UCS Manager リリース	ラックマウント サーバ
4.2(1b)	4.2(1f)	Cisco UCS C220 M6、および C240 M6 サーバー
4.2 (1a)	4.2(1d)	Cisco UCS C220 M6、C240 M6、および C245 M6 サーバー

表 7: Cisco IMC 4.1(3) リリースのラック マウント サーバー用 Cisco IMC および UCS Manager ソフトウェア リリース

Cisco IMC のリリース	Cisco UCS Manager リリース	ラックマウント サーバ
4.1(3n)	NA	Cisco UCS C220 M5、C240 M5、C480 M5 および S3260 M5 および S3260 M4 サーバー
4.1(3m)	4.1(3m)	Cisco UCS C220 M5、C240 M5、C480 M5 および S3260 M5 および S3260 M4 サーバー
4.1(3l)	4.1(3k)	Cisco UCS C480 M5、C220 M5、および C240 M5 サーバー
4.1(3i)	4.1(3j)	Cisco UCS C220 M5、C240 M5、C480 M5、S3260 M4、S3260 M5、C125 M5 サーバー
4.1(3h)	4.1(3i)	Cisco UCS C220 M5、C240 M5、C480 M5、S3260 M4、S3260 M5、C125 M5 サーバー
4.1(3g)	サポートなし	Cisco UCS S3260 M4 および S3260 M5 サーバ
4.1(3f)	4.1(3h)	Cisco UCS C220 M5、C240 M5、C480 M5、S3260 M4、S3260 M4、S3260 M5、および C125 M5 サーバー
4.1 (3d)	4.1(3e)	Cisco UCS C220 M5、C240 SD M5、C240 M5、C480 M5、C480 ML M5、S3260 M4、S3260 M5、および C125 M5 サーバー

Cisco IMC のリリース	Cisco UCS Manager リリース	ラックマウント サーバ
4.1 (3c)	4.1 (3d)	Cisco UCS C220 M5、C240 SD M5、C240 M5、C480 M5、C480 ML M5、S3260 M4、S3260 M5、および C125 M5 サーバー
4.1 (3b)	4.1(3a)	Cisco UCS C220 M5、C240 SD M5、C240 M5、C480 M5、C480 ML M5、S3260 M4、S3260 M5、および C125 M5 サーバー

表 8 : Cisco IMC 4.1(2) リリースのラック マウント サーバー用 Cisco IMC および UCS Manager ソフトウェア リリース

Cisco IMC のリリース	Cisco UCS Manager リリース	ラックマウント サーバ
4.1(2m)	サポートなし	Cisco UCS C220 M4、C240 M4、および C460 M4 サーバー。
4.1(2l)	サポートなし	Cisco UCS C220 M4、C240 M4 サーバー。
4.1(2k)	サポートなし	Cisco UCS C220 M4、C240 M4、および C460 M4 サーバー
4.1(2j)	サポートなし	Cisco UCS C220 M4、C240 M4、および C460 M4 サーバー
4.1(2h)	サポートなし	Cisco UCS C220 M4、C240 M4、および C460 M4 サーバー
4.1(2g)	サポートなし	Cisco UCS C220 M4、C240 M4、および C460 M4 サーバー
4.1(2f)	4.1 (2c)	Cisco UCS C220 M5、C240 SD M5、C240 M5、C480 M5、C480 ML M5、S3260 M5、C220 M4、C240 M4、C460 M4、および S3260 M4 サーバー
4.1(2e)	サポートなし	Cisco UCS C125 M5 サーバー
4.1(2d)	サポートなし	Cisco UCS C240 M5 および C240 SD M5 サーバー

Cisco IMC のリリース	Cisco UCS Manager リリース	ラックマウント サーバ
4.1(2b)	4.1(2b)	Cisco UCS C220 M5、C240 SD M5、C240 M5、C480 M5、C480 ML M5、S3260 M5、C125 M5、C220 M4、C240 M4、C460 M4、および S3260 M4 サーバー
4.1(2a)	4.1(2a)	Cisco UCS C220 M5、C240 SD M5、C240 M5、C480 M5、C480 ML M5、S3260 M5、C125 M5、C220 M4、C240 M4、C460 M4、および S3260 M4 サーバー

表 9: Cisco IMC 4.1(1) リリースのラック マウント サーバ用 Cisco IMC および UCS Manager ソフトウェア リリース

Cisco IMC のリリース	Cisco UCS Manager リリース	ラックマウント サーバ
4.1(1h)	4.1(1e)	Cisco UCS C220 M5、C240 M5、C480 M5、C480 ML M5、S3260 M5、C125 M5、C220 M4、C240 M4、C460 M4、および S3260 M4 サーバ
4.1(1g)	4.1(1d)	Cisco UCS C220 M5、C240 M5、C480 M5、C480 ML M5、S3260 M5、C125 M5、C220 M4、C240 M4、C460 M4、および S3260 M4 サーバ
4.1(1f)	4.1(1c)	Cisco UCS C220 M5、C240 M5、C480 M5、C480 ML M5、S3260 M5、C125 M5、C220 M4、C240 M4、C460 M4、および S3260 M4 サーバ
4.1(1d)	4.1(1b)	Cisco UCS C220 M5、C240 M5、C480 M5、および C480 ML M5 サーバ
4.1(1c)	4.1(1a)	Cisco UCS C220 M5、C240 M5、C480 M5、C480 ML M5、S3260 M5、C125 M5、C220 M4、C240 M4、C460 M4、および S3260 M4 サーバ

オペレーティング システムとブラウザの要件

サポートされているオペレーティング システムの詳細については、インタラクティブな『[UCS ハードウェアおよびソフトウェアの互換性](#)』マトリックスを参照してください。

シスコでは、Cisco UCS ラック サーバー ソフトウェア、リリース 4.3(3) に次のブラウザを推奨しています。

推奨されるブラウザ	推奨されるブラウザの最小バージョン	推奨される最小オペレーティング システム
Google Chrome	バージョン 114.0.5735.198 (公式ビルド) (x86_64)	Mac OS 13.4.1 (22F82)
	バージョン 112.0.5615.138 (公式ビルド) (64 ビット)	Microsoft Windows 2019
	バージョン 114.0.5735.199 (公式ビルド) (64 ビット)	Microsoft Windows Server 2019
	バージョン 115.0.5790.110 (公式ビルド) (64 ビット)	Microsoft Windows 11 Enterprise
	バージョン 109.0.5414.149 (公式ビルド) (64 ビット)	Microsoft Windows 2019
	バージョン 115.0.5790.110 (公式ビルド) (64 ビット)	Microsoft Windows 11 Enterprise
Safari	バージョン 16.6 (18615.3.12.11.2)	Mac OS 13.5 (22G74)
	バージョン 16.5.2 (18615.2.9.11.10)	Mac OS 13.4.1 (22F82)
Mozilla Firefox	115.0.3 (64 ビット)	Mac OS 13.5 (22G74)
	116.0 (64 ビット)	Microsoft Windows 11 Enterprise



- (注) 管理クライアントがサポートされていないブラウザを使用して開始されている場合、サポートされているブラウザ バージョンのログイン ウィンドウで入手可能な「サポートされたブラウザの最も良い結果のために」のオプションからのヘルプ情報を確認してください。

Transport Layer Security (TLS) バージョン 1.2

デフォルトポート

次に示すのは、サーバポートとそのデフォルトのポート番号のリストです。

表 10: サーバポート

ポート名	ポート番号
LDAP Port 1	389
LDAP Port 2	389
LDAP Port 3	389
LDAP Port 4	3268
LDAP Port 5	3268
LDAP Port 6	3268
SSHポート	22
[HTTP ポート (HTTP Port)]	80
HTTPS ポート	443
SMTP ポート (SMTP Port)	25
KVM ポート	2068
Intersight 管理ポート	8889
Intersight クラウドポート	8888
SOL SSH ポート	2400
SNMPポート	161
SNMP トラップ	162
外部Syslog	514

アップグレードとダウングレードのガイドライン

Cisco IMC で可能なすべてのアップグレードパスの完全な概要を取得するには、[Cisco UCS ラック サーバアップグレードサポートマトリックス](#)を参照してください。

リリース 4.3.3.240022 のダウングレードに関する制限事項：

リリース 4.3.3.240022では、第5世代 Intel® Xeon® プロセッサを搭載した Cisco UCS M7 サーバーをダウングレードすることはできません。

Cisco IMC をダウングレードしようとする、CLI、GUI、Redfish API、およびXML API のユーザー インターフェイスに次のエラーメッセージが表示されます。

CLI/WEBUI/Redfish/XML = などの異なるインターフェイスを使用した BMC ダウングレード中のエラーメッセージ

「アップデートは中止されました。INCOMPATIBLE_IMAGE」

BIOS をダウングレードしようとする、CLI、GUI、Redfish API、および XML API のユーザーインターフェイスに次のエラーメッセージが表示されます。

アップロードされたイメージとプラットフォームの間で CPU ID が一致しません。



- (注) 第 4 世代 Intel® Xeon® スケーラブル プロセッサを搭載した Cisco UCS M7 サーバをダウングレードできます。

リリース 4.3(2) へのインフラストラクチャのアップグレードおよびダウングレード：

- Cisco UCS M4 サーバーは、4.3.2.230207 以降のリリースではサポートされていません。
- システムに新しいハードウェアコンポーネントを追加した後に、ファームウェアの更新を実行する必要があります。
- サーバーに Cisco UCS VIC 15237 または 15427 をインストールする場合は、4.3.2.230270 以降のバージョンにサーバーをアップグレードしてから、アダプタをサーバーに挿入します。
4.3.2.230270 よりも前のバージョンを実行しているサーバーに Cisco UCS VIC 15237 または 15427 を挿入する場合は、サーバーを 4.3.2.230270 以降のバージョンにアップグレードし、サーバーの電源を再投入してアダプタを認識させます。
- サーバーに Cisco UCS VIC 15235 または 15425 をインストールする場合は、サーバーを 4.3.2.230207 以降のバージョンにアップグレードしてから、アダプタをサーバーに挿入します。
4.3.2.230207 よりも前のバージョンを実行しているサーバーに Cisco UCS VIC 15235 または 15425 を挿入する場合は、サーバーを 4.3.2.230207 以降のバージョンにアップグレードし、サーバーの電源を再投入してアダプタを認識させます。

Cisco UCS M7 サーバーのサポート

Cisco UCS M7 サーバーは、リリース 4.3.1.230097 以降サポートされています。

次のリリースは、Cisco UCS M7 サーバー専用です。

- 4.3.1.230138
- 4.3.1.230124
- 4.3.1.230097

リリース 4.3.3 へのアップグレードパス

このセクションではリリース 4.3.3(x) へのアップグレードパスについて説明します。

さまざまな Cisco UCS C シリーズ IMC バージョンのアップグレードパスの表を参照してください。

表 11: リリース 4.3(3x)へのアップグレードパス

リリースからアップグレード	リリースにアップグレード	推奨されるアップグレードパス
リリース 4.3.1.230097 以降の次の Cisco UCS サーバー <ul style="list-style-type: none"> • Cisco UCS C220 M7 • Cisco UCS C240 M7 	<ul style="list-style-type: none"> • 4.3.3.240022 • 4.3.2.240002 • 4.3.2.230270 • 4.3.2.230207 • 4.3.1.230138 • 4.3.1.230124 	以下のアップグレードパスに従ってください: <ul style="list-style-type: none"> • サーバをアップグレードするには、インタラクティブ HUU または非インタラクティブ HUU (NIHHU) スクリプトを使用できます。 • NIHHU ツールを使用してファームウェアをアップデートする際には、バージョン 4.3.2.230207 でリリースされた Python スクリプトを使用します。 • クライアント側で OpenSSL 1.0.1e-fips を使用します (NIHHU python スクリプトが実行中) • ここ から HUU iso をダウンロードします。 • ここ から NIHHU をダウンロードします。
リリース 4.2(3b) 以降の Cisco UCS サーバー <ul style="list-style-type: none"> • Cisco UCS C220 M6 • Cisco UCS C240 M6 • Cisco UCS C245 M6 • Cisco UCS C225 M6 • Cisco UCS C220 M5 • Cisco UCS C240 M5 • Cisco UCS C240 SD M5 • Cisco UCS C480 M5 • Cisco UCS C480 M5 ML • Cisco UCS S3260 M5 • Cisco UCS C125 M5 	<ul style="list-style-type: none"> • 4.3.3.240022 • 4.3.2.240002 • 4.3.2.230270 • 4.3.2.230207 • 4.2(3g) • 4.2(3e) • 4.2(3d) 	以下のアップグレードパスに従ってください: <ul style="list-style-type: none"> • サーバをアップグレードするには、インタラクティブ HUU または非インタラクティブ HUU (NIHHU) スクリプトを使用できます。 • NIHHU ツールを使用してファームウェアをアップデートする際には、バージョン 4.3.2.230207 でリリースされた Python スクリプトを使用します。 • クライアント側で OpenSSL 1.0.1e-fips を使用します (NIHHU python スクリプトが実行中) • ここ から HUU iso をダウンロードします。 • ここ から NIHHU をダウンロードします。

リリースからアップグレード	リリースにアップグレード	推奨されるアップグレードパス
リリース 4.2(2) 以降の Cisco UCS サーバー <ul style="list-style-type: none"> • Cisco UCS C220 M5 • Cisco UCS C240 M5 • Cisco UCS C240 SD M5 • Cisco UCS C480 M5 • Cisco UCS C480 M5 ML • Cisco UCS S3260 M5 • Cisco UCS C125 M5 	<ul style="list-style-type: none"> • 4.3.3.240022 • 4.3.2.240002 • 4.3.2.230270 • 4.3.2.230207 • 4.2(3g) • 4.2(3e) • 4.2(3d) • 4.2(3b) 	以下のアップグレードパスに従ってください: <ul style="list-style-type: none"> • サーバをアップグレードするには、インタラクティブ HUU または非インタラクティブ HUU (NIHHU) スクリプトを使用できます。 • NIHHU ツールを使用してファームウェアを更新する際には、バージョン 4.2.2 でリリースされた Python スクリプトを使用します。 • クライアント側で OpenSSL 1.0.1e-fips を使用します (NIHHU python スクリプトが実行中) • ここ から HUU iso をダウンロードします。 • ここ から NIHHU をダウンロードします。
4.2(1) からのすべての Cisco UCS M6 サーバー。 サポートされているプラットフォームについては、 表 12: リリース 4.2(1a) へのアップグレードパス (18 ページ) を参照してください。	<ul style="list-style-type: none"> • 4.3.3.240022 • 4.3.2.240002 • 4.3.2.230270 • 4.3.2.230207 	以下のアップグレードパスに従ってください: <ul style="list-style-type: none"> • サーバをアップグレードするには、インタラクティブ HUU または非インタラクティブ HUU (NIHHU) スクリプトを使用できます。 • NIHHU ツールを使用してファームウェアを更新する際には、バージョン 4.2(1) でリリースされた Python スクリプトを使用します。 • クライアント側で OpenSSL 1.0.1e-fips を使用します (NIHHU python スクリプトが実行中) • ここ から HUU iso をダウンロードします。 • ここ から NIHHU をダウンロードします。

リリースからアップグレード	リリースにアップグレード	推奨されるアップグレードパス
4.1(3) 以降の次の Cisco UCS サーバー: <ul style="list-style-type: none"> • Cisco UCS C220 M5 • Cisco UCS C240 M5 • Cisco UCS C240 SD M5 • Cisco UCS C480 M5 • Cisco UCS C480 M5 ML • Cisco UCS S3260 M5 • Cisco UCS C125 M5 	<ul style="list-style-type: none"> • 4.3.3.240022 • 4.3.2.240002 • 4.3.2.230270 • 4.3.2.230207 • 4.2(3g) • 4.2(3e) • 4.2(3d) • 4.2(3b) 	以下のアップグレードパスに従ってください: <ul style="list-style-type: none"> • サーバをアップグレードするには、インタラクティブ HUU または NIHHU スクリプトを使用できます。 • NIHHU ツールを使用してファームウェアを更新する際には、バージョン 4.1(3) でリリースされた Python スクリプトを使用します。 • クライアント側で OpenSSL 1.0.1e-fips を使用します (NIHHU python スクリプトが実行中) • ここ から HUU iso をダウンロードします。 • ここ から NIHHU をダウンロードします。
4.1(2) 以降の次の Cisco UCS サーバー: <ul style="list-style-type: none"> • Cisco UCS C220 M5 • Cisco UCS C240 M5 • Cisco UCS C240 SD M5 • Cisco UCS C480 M5 • Cisco UCS C480 M5 ML • Cisco UCS S3260 M5 • Cisco UCS C125 M5 • Cisco UCS S3260 M4 	<ul style="list-style-type: none"> • 4.3.3.240022 • 4.3.2.240002 • 4.3.2.230270 • 4.3.2.230207 • 4.2(3g) • 4.2(3e) • 4.2(3d) • 4.2(3b) 	以下のアップグレードパスに従ってください: <ul style="list-style-type: none"> • サーバをアップグレードするには、インタラクティブ HUU または非インタラクティブ HUU (NIHHU) スクリプトを使用できます。 • NIHHU ツールを使用してファームウェアを更新する際には、バージョン 4.1(2) でリリースされた Python スクリプトを使用します。 • クライアント側で OpenSSL 1.0.1e-fips を使用します (NIHHU python スクリプトが実行中) • ここ から HUU iso をダウンロードします。 • ここ から NIHHU をダウンロードします。

リリースからアップグレード	リリースにアップグレード	推奨されるアップグレードパス
4.1(1) 以降の次の Cisco UCS サーバー: <ul style="list-style-type: none"> • Cisco UCS C220 M5 • Cisco UCS C240 M5 • Cisco UCS C480 M5 • Cisco UCS C480 M5 ML • Cisco UCS S3260 M5 • Cisco UCS C125 M5 	<ul style="list-style-type: none"> • 4.3.3.240022 • 4.3.2.240002 • 4.3.2.230270 • 4.3.2.230207 • 4.2(3g) • 4.2(3e) • 4.2(3d) • 4.2(3b) 	以下のアップグレードパスに従ってください: <ul style="list-style-type: none"> • サーバをアップグレードするには、インタラクティブ HUU または非インタラクティブ HUU (NIHHU) スクリプトを使用できます。 • NIHHU ツールを使用してファームウェアを更新する際には、バージョン 4.1(1) でリリースされた Python スクリプトを使用します。 • クライアント側で OpenSSL 1.0.1e-fips を使用します (NIHHU python スクリプトが実行中) • ここ から HUU iso をダウンロードします。 • ここ から NIHHU をダウンロードします。
4.0(4) 以降の次の Cisco UCS サーバー: <ul style="list-style-type: none"> • Cisco UCS C220 M5 • Cisco UCS C240 M5 • Cisco UCS C480 M5 • Cisco UCS C480 M5 ML 	<ul style="list-style-type: none"> • 4.3.3.240022 • 4.3.2.240002 • 4.3.2.230270 • 4.3.2.230207 • 4.2(3g) • 4.2(3e) • 4.2(3d) • 4.2(3b) 	以下のアップグレードパスに従ってください: <ul style="list-style-type: none"> • サーバをアップグレードするには、インタラクティブ HUU または非インタラクティブ HUU (NIHHU) スクリプトを使用できます。 • NIHHU ツールを使用してファームウェアをアップデートする際には、バージョン 4.0(4) でリリースされた Python スクリプトを使用します。 • クライアント側で OpenSSL 1.0.1e-fips を使用します (NIHHU python スクリプトが実行中) • ここ から HUU iso をダウンロードします。 • ここ から NIHHU をダウンロードします。

表 12: リリース 4.2(1a)へのアップグレードパス

リリースからアップグレード	リリースにアップグレード	推奨されるアップグレードパス
Cisco UCS C220 M6	<ul style="list-style-type: none"> • 4.3.3.240022 • 4.3.2.240002 • 4.3.2.230270 • 4.3.2.230207 • 4.2(3g) • 4.2(3e) • 4.2(3d) • 4.2(3b) 	<p>以下のアップグレードパスに従ってください:</p> <ul style="list-style-type: none"> • サーバをアップグレードするには、インタラクティブ HUU または非インタラクティブ HUU (NIHUU) スクリプトを使用できます。 • NIHUU ツールを使用してファームウェアを更新する際には、バージョン 4.2(1) でリリースされた Python スクリプトを使用します。 • クライアント側で OpenSSL 1.0.1e-fips を使用します (NIHUU python スクリプトが実行中) • ここ から HUU iso をダウンロードします。 • ここ から NIHUU をダウンロードします。
Cisco UCS C240 M6		
Cisco UCS C225 M6		
Cisco UCS C245 M6		

ファームウェア ファイル

ファームウェア ファイル

C シリーズのソフトウェア リリース 4.3.3.240022 には、次のソフトウェアファイルが含まれます。

CCO ソフトウェア タイプ	ファイル名	備考
Unified Computing System (UCS) サーバファームウェア	リリース特有の ISO バージョンについては、 Cisco UCS C シリーズ統合管理コントローラファームウェア ファイル 、 リリース 4.3 を参照してください。	ホストアップグレードユーティリティ
Unified Computing System (UCS) ドライバ	ucs-cxxx-drivers4.3.3.240022.iso	ドライバ

Unified Computing System (UCS) ユーティリティ	ucs-cxxx-utils-efi4.3.3.240022.iso	ユーティリティ
	ucs-cxxx-utils-linux4.3.3.240022.iso	
	ucs-cxxx-utils-vmware4.3.3.240022.iso	
	ucs-cxxx-utils-windows4.3.3.240022.iso	



- (注) 必ず BIOS、Cisco IMC および CMC を HUU ISO からアップグレードしてください。予期しない動作の原因となる場合があるため、コンポーネント（BIOS のみ、または Cisco IMC のみ）を個別にアップグレードしないでください。BIOS をアップグレードし、HUU ISO からではなく、Cisco IMC を個別にアップグレードすることを選択した場合は、Cisco IMC と BIOS の両方を同じコンテナリリースにアップグレードしてください。BIOS と Cisco IMC のバージョンが異なるコンテナリリースからのものである場合、予期しない動作が発生する可能性があります。Cisco IMC、BIOS、およびその他すべてのサーバコンポーネント (VIC、RAID コントローラ、PCI デバイス、および LOM) のファームウェアバージョンを更新するには、Host Upgrade Utility から [すべて更新 (Update All)] オプションを使用することを推奨します。

ホストアップグレードユーティリティ

Cisco Host Upgrade Utility (HUU) は、Cisco UCS C シリーズファームウェアをアップグレードするツールです。

ファームウェアのイメージファイルは、ISO に埋め込まれています。ユーティリティにメニューが表示され、これを使用してアップグレードするファームウェアコンポーネントを選択することができます。このユーティリティに関する詳細については、http://www.cisco.com/en/US/products/ps10493/products_user_guide_list.html を参照してください。

個々のリリースに対する Cisco ホストアップグレードユーティリティのファームウェアファイルは、[Cisco UCS C シリーズ統合管理コントローラファームウェアファイル、リリース 4.2](#) を参照してください。

ファームウェアの更新

Host Upgrade Utility を使用して、C シリーズのファームウェアを更新します。Host Upgrade Utility は、次のソフトウェアコンポーネントをアップグレードできます。

- BIOS
- Cisco IMC
- CMC
- Cisco VIC アダプタ
- Broadcom アダプタ
- オンボード LAN
- PCIe アダプタ ファームウェア

- HDD ファームウェア
- SAS エクспанダ ファームウェア
- DCPMM メモリ
- PCI Gen5 リタイマー

すべてのファームウェアは、サーバが正常に動作するようにまとめてアップグレードする必要があります。



- (注) Cisco IMC、BIOS、およびその他のすべてのサーバー コンポーネント (VIC、RAID コントローラ、PCI デバイス、および LOM) のファームウェア バージョンを更新するには、ホスト更新ユーティリティからすべての選択して、**[更新]**または**[更新とすべての更新して有効化 (Update & Activate All)]** オプションを使用することをお勧めします。ファームウェアを導入したら、**[終了 (Exit)]** をクリックします。

ユーティリティを使用してファームウェアをアップグレードする方法の詳細については、次を参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/products-user-guide-list.html>

SNMP

このリリース以降のリリースでサポートされている MIB 定義については、次のリンクを参照してください。

<https://cisco.github.io/cisco-mibs/>

ソフトウェア ユーティリティ

次の標準ユーティリティを使用できます。

- Host Update Utility (HUU)
- サーバ設定ユーティリティ (SCU)
- サーバ診断ユーティリティ (SDU)

ユーティリティ機能は次のとおりです。

- USB 上の HUU、SCU のブート可能なイメージとしての可用性。USB にはドライバ ISO も含まれており、ホストのオペレーティングシステムからアクセスできます。

リリース 4.3.3 の新しいハードウェア

リリース 4.3.3.240022 の新しいハードウェア

第 5 世代 Intel® Xeon® スケーラブル プロセッサのサポート

Cisco UCS 220 M7 および UCS C240 M7 サーバーを搭載した次の第 5 世代 Intel® Xeon® スケーラブル プロセッサのサポート：

- Intel® Xeon® Platinum 8592V プロセッサ
- Intel® Xeon® Platinum 8562Y+ プロセッサ
- Intel® Xeon® Platinum 8568Y+ プロセッサ
- Intel® Xeon® Platinum 8592+ プロセッサ
- Intel® Xeon® Platinum 8558P プロセッサ
- Intel® Xeon® Platinum 8580 プロセッサ
- Intel® Xeon® Platinum 8558 プロセッサ
- Intel® Xeon® Gold 6542Y プロセッサ
- Intel® Xeon® Gold 6544Y プロセッサ
- Intel® Xeon® Gold 6548Y+ プロセッサ
- Intel® Xeon® Gold 6526Y プロセッサ
- Intel® Xeon® Gold 6530 プロセッサ
- Intel® Xeon® Gold 6534 プロセッサ
- Intel® Xeon® Gold 6554S プロセッサ
- Intel® Xeon® Gold 6538Y+ プロセッサ
- Intel® Xeon® Gold 5515+ プロセッサ
- Intel® Xeon® Gold 5520+ プロセッサ
- Intel® Xeon® Gold 6548N プロセッサ
- Intel® Xeon® Silver 4514Y プロセッサ
- Intel® Xeon® Silver 4516Y+ プロセッサ

サポート対象の GPU

上記のセクションに記載されている CPU を搭載した次の Intel GPU カードのサポート。

- Intel® Data Center GPU Flex 170、FH-3/4L、150W PCIe（Cisco UCS C240 M7 サーバー搭載）のサポート

- Intel[®] Data Center GPU Flex 140、HHHL、75W PCIe（Cisco UCS C220 M7 および C240 M7 サーバー搭載）のサポート

5600 DIMM のサポート

次の 5600 DIMM をサポートします。

- Hynix 16GB 1Rx8 PC5-5600B-RD0-1010-XT（HMCG78AGBRA190N BB 307）
- Hynix 32GB 1Rx4 PC5-5600B-RC0-1010-XT（HMCG84AGBRA190N BB 310）
- Hynix 64GB 2Rx4 PC5-5600B-RA0-1010-XT（HMCG94AGBRA177N BB 327）
- Hynix 96GB 96GB 2Rx4 PC5-5600B-RA0-1010-XT（HMCGM4MGBRB）
- Hynix 128GB 2S2Rx4 PC5-5600B-RA0-1010-XT（HMCT04AGERA）
- Samsung 16GB 1Rx8 PC5-5600B-RD0-1010-XT（KR M321R2GA3PB0-CWMKH 2323）
- Samsung 32GB 1Rx4 PC5-5600B-RC0-1010-XT（M321R4GA0PB0-CWM）
- Samsung 64GB 2Rx4 PC5-5600B-RA0-1010-XT（KR M321R8GA0PB0-CWMCH 2326）
- Micron 96GB 2RX4 PC5-5600B-RA0-1010-XT（MTC40F204WS1RC56BB1 317）

未解決の不具合

リリースで未解決の問題 4.3.3.240022

リリース 4.3.3.240022 では、次の問題が未解決です。

不具合 ID	症状	回避策	最初に影響を受けるリリース
CSCwi85031	<p>Cisco UCS C240 M7 サーバーは、2つのライザー スロットに2つの Intel Flex 170 GPU を搭載し、CPU SKU (シングル QAT、DLB、DSA、IAA アクセラレータデバイスを内蔵) を搭載し、Cisco UCS HUU 4.3 上で実行されます。3 を RHEL 9.2 および Ubuntu 22.04.3 で使用すると、カーネルパニックとブートハングが発生します。</p> <p>デフォルトでは、BIOS はより低い MMIO ベースとサイズを使用します。</p> <p>これにより、Intel Flex 170 GPU ではより粒度の高いサイズのより高い範囲のメモリが必要になるため、PCI 列挙中に GPU で問題が発生します。</p>		4.3.3.240022

不具合 ID	症状	回避策	最初に影響を受けるリリース
		<p>次の操作を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco IMC Web UIに管理者ユーザーとしてログインします。 2. [ナビゲーション (Navigation)] ペインの [コンピューティング (Compute)]メニューをクリックします。 3. 作業ウィンドウで [BIOS] タブをクリックします。 4. [Actions] 領域で [BIOS セットアップの入力 (Enter BIOS Setup)] をクリックします。 5. プロンプトで [OK] をクリックします。 [BIOS セットアップの入力] が有効になります。再起動時に、サーバーは BIOS セットアップを開始します。 6. [BIOS セットアップ (BIOS Setup)] > [詳細 (Advanced)] > [ソケット 	

不具合 ID	症状	回避策	最初に影響を受けるリリース
		<p>設定 (Socket Configuration)] > [Uncore 設定 (Uncore Configuration)] > [Uncore General Configuration (Uncore General Configuration)] の順に選択します。</p> <p>7. [MMIO 高粒度サイズ (MMIO High Granularity Size)] フィールドに値 1024G を入力します。</p> <p>8. [CPU PA を 46 ビットに制限 (LIMIT CPU PA to 46 Bits)] オプションを無効にします。</p> <p>9. [MMIO 上位ベース (MMIO High Base)] フィールドに値 56T を入力します。</p> <p>10. F10 を押して設定を保存し、サーバをリブートします。</p>	

不具合 ID	症状	回避策	最初に影響を受けるリリース
CSCwi85033	<p>2つのライザー スロットに配置された2つの Nvidia H100 GPU を搭載した Cisco UCS C240 M7 サーバーと、CPU SKU (シングルQAT、DLB、DSA、IAA アクセラレータデバイスを内蔵) を備え、Cisco UCS HUU 4.3.3 で実行されるデュアルソケット サーバー RHEL 9.2 および Ubuntu 22.04.3 では、カーネルパニックとブートハングが発生します。</p> <p>デフォルトでは、BIOS はより低い MMIO ベースとサイズを使用します。</p> <p>これにより、Nvidia H100 GPU ではより粒度の高いサイズのより高い範囲のメモリが必要になるため、PCI 列挙中に GPU で問題が発生します。</p>		4.3.3.240022

不具合 ID	症状	回避策	最初に影響を受けるリリース
		<p>次の操作を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco IMC Web UI に管理者ユーザーとしてログインします。 2. [ナビゲーション (Navigation)] ペインの [コンピューティング (Compute)] メニューをクリックします。 3. 作業ウィンドウで [BIOS] タブをクリックします。 4. [Actions] 領域で [BIOS 設定の入力 (Enter BIOS Setup)] をクリックします。 5. プロンプトで [OK] をクリックします。 <p>[BIOS セットアップの入力] が有効になります。再起動時に、サーバは BIOS セットアップを開始します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 6. [BIOS セットアップ (BIOS Setup)] > [詳細 (Advanced)] > [ソケット構成 (Socket Configuration)] > [アンコア構成 (Uncore Configuration)] > 	

不具合 ID	症状	回避策	最初に影響を受けるリリース
		<p>[アンコア一般構成 (Uncore General Configuration)] の順に選択します。</p> <p>7. [MMIO 高粒度サイズ (MMIO High Granularity Size)] に値 1024G を入力します。</p> <p>8. F10 を押して設定を保存し、サーバを再起動します。</p>	

関連資料

このリリースの設定については、次を参照してください。

- [『Cisco UCS C-Series Servers Integrated Management Controller CLI Configuration Guide』](#)
- [『Cisco UCS C-Series Servers Integrated Management Controller GUI Configuration Guide』](#)
- [Cisco UCS ラックマウント サーバ Cisco IMC API プログラマ ガイド](#)

C シリーズサーバのインストールの詳細については、次を参照してください。

- [Cisco UCS C シリーズラックサーバのインストールおよびアップグレードガイド](#)

次の関連資料は、Cisco Unified Computing System (UCS) で入手できます。

- [『Regulatory Compliance and Safety Information for Cisco UCS』](#)
- 管理用の UCS Manager と統合されたラック サーバでサポートされるファームウェアバージョンとサポートされる UCS Manager バージョンについては、「[Release Bundle Contents for Cisco UCS Software](#)」を参照してください。

次の場所にある『Cisco UCS Manager ソフトウェアのリリースノート』および『Cisco UCS C シリーズの Cisco UCS Manager との統合に関するガイド』を参照してください。

- [『Cisco UCS Manager Release Notes』](#)
- [Cisco UCS C シリーズ サーバと Cisco UCS Manager との統合に関するガイド](#)

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。